

特区活用フォーラム

特区で拓く地方創生

2025年11月25日 13:30~17:00

開催報告レポート



地方創生推進事務局

2025年 12月

特区活用フォーラム 概要

内閣府 地方創生推進事務局は、制度活用の事例やヒントを知り、地域間やビジネスとのつながりを深める場として、特区活用フォーラムを開催しました。第一回となる2025年は、東京国際フォーラムで開催し、オンラインでも配信しました。また、参加者同士が情報交換できる交流スペースを設け、ネットワーク構築の場として活用いただきました。



会場の様子



交流スペースの様子

＜特区活用フォーラム 開催概要＞

- 会期: 2025年11月25日(火)
- 会場: 東京国際フォーラム(東京都)
- 主催者: 内閣府 地方創生推進事務局
- 今年度の実績: 対面参加者:154名
(対面登録者:236名)
オンライン参加者:270名
(オンライン登録者:377名)
- 開会挨拶 内閣府 地方創生推進事務局長 高橋 謙司
- 基調講演 内閣府 地方創生推進事務局 審議官 小山 和久
- 特区スペシャルトーク
 - ・東御市 重田 雄一 課長 ・養父市 小野山 幸司 課長 ・そらいいいな株式会社 土屋 浩伸 代表取締役
- 特区自治体によるパネルディスカッション
 - つくば市 五十嵐 立青 市長、熊本県 富永 隼行 部長、福岡市 的野 浩一 部長
 - モデレーター:国家戦略特区 諮問会議議員 大槻 奈那氏
- ウェブサイト:[特区活用フォーラム 特区で拓く地方創生](#)

展示物概要

交流スペースに、特区制度の概要や事例を紹介するパネルや、登壇する自治体を含む地域の取組についてまとめたパネルを展示しました。また、情報交換や交流に活用できる“特区伝言板(名刺ボード)”を設置しました。参加者の興味・関心に応じ、名刺を貼り付けていただくことで、参加者間での交流が円滑に進められるように活用しました。



制度・取組紹介パネル



事例紹介パネルと参加者交流のための特区伝言板

【展示概要】

- | | |
|-----------|--|
| ・ 制度全体 | :特区制度の概要・分野ごとの活用事例 |
| ・ 国家戦略特区 | :スーパー・シティ・デジタル田園健康特区・連携“絆”特区 |
| ・ つくば市 | :つくばスーパー・サイエンスシティ構想 |
| ・ 福島県 | :新技術実装連携“絆”特区の取組、水素を活用した県内の取組 |
| ・ 宮城県・熊本県 | :「産業拠点形成連携“絆”特区」半導体関連産業の拠点形成に関する取組 |
| ・ 兵庫県養父市 | :中山間地域における特区制度と地方創生の取組 |
| ・ 長崎県 | :「新技術実装連携“絆”特区」離島におけるドローン配送(エリア単位×レベル4飛行)の取組 |
- 等

開会挨拶・基調講演

開会挨拶

内閣府 地方創生推進事務局長
高橋 謙司



基調講演(特区制度の紹介)

内閣府 地方創生推進事務局 審議官
小山 和久 「地域の課題を起点とする規制・制度改革」



特区制度で未来を拓く

構造改革特区 総合特区 国家戦略特区



「特区で未来を拓く～制度紹介編」など
動画も用いて特区制度を紹介
[特区制度で未来を拓く～制度紹介編](#)

特区スペシャルトーク

東御市

千曲川ワインバー (東地区)特区の取組

長野県 東御市 産業経済部農林課
課長 重田 雄一 氏



長野県内の複数市町村が広域的に連携して取り組む千曲川ワインバー(東地区)の取組を紹介。全国で活用可能な構造改革特区の特例を活用して、小規模ワイナリーの開業が可能に。約10年でワイナリー数が4.6倍に増加し、観光をはじめ、関連産業の雇用創出や交流人口の増加につながっている。

養父市

養父市の挑戦 ～中山間地域における特区制度の取組～

兵庫県 養父市 経営政策・国家戦略特区課
課長 小野山 幸司 氏



人口減少、高齢化や離農による農業の担い手不足という課題に対し、市独自の取組を紹介。農業の活性化に加え、過疎地域等での自家用自動車の活用拡大など、地域の課題解決につながる規制改革メニューを提案・活用。特区制度を活用し、中山間地域の小規模自治体における地方創生に、取り組んでいる。

そらいいな株式会社

新技術実装連携“絆”特区における取組 ドローンによる軒先配送の実装に向けて

そらいいな株式会社
代表取締役 土屋 浩伸 氏



日本で最も有人離島が多い長崎県で、県・町・病院等と連携して取り組む、医療用医薬品等のドローン配送に向けた取組を紹介。特に「レベル4飛行」と呼ばれる「有人地帯の目視外飛行」の取組に注力。ドローンによるオンデマンド配送の社会実装を目指し、特区で取組を進めている。

特区自治体によるパネルディスカッション



モデレーター
国家戦略特区
諮問会議議員
大槻 奈那 様

登壇者
つくば市長
五十嵐 立青 様

登壇者
熊本県
企画振興部長
富永 隼行 様

登壇者
福岡市
総務企画局
企画調整部長
的野 浩一 様



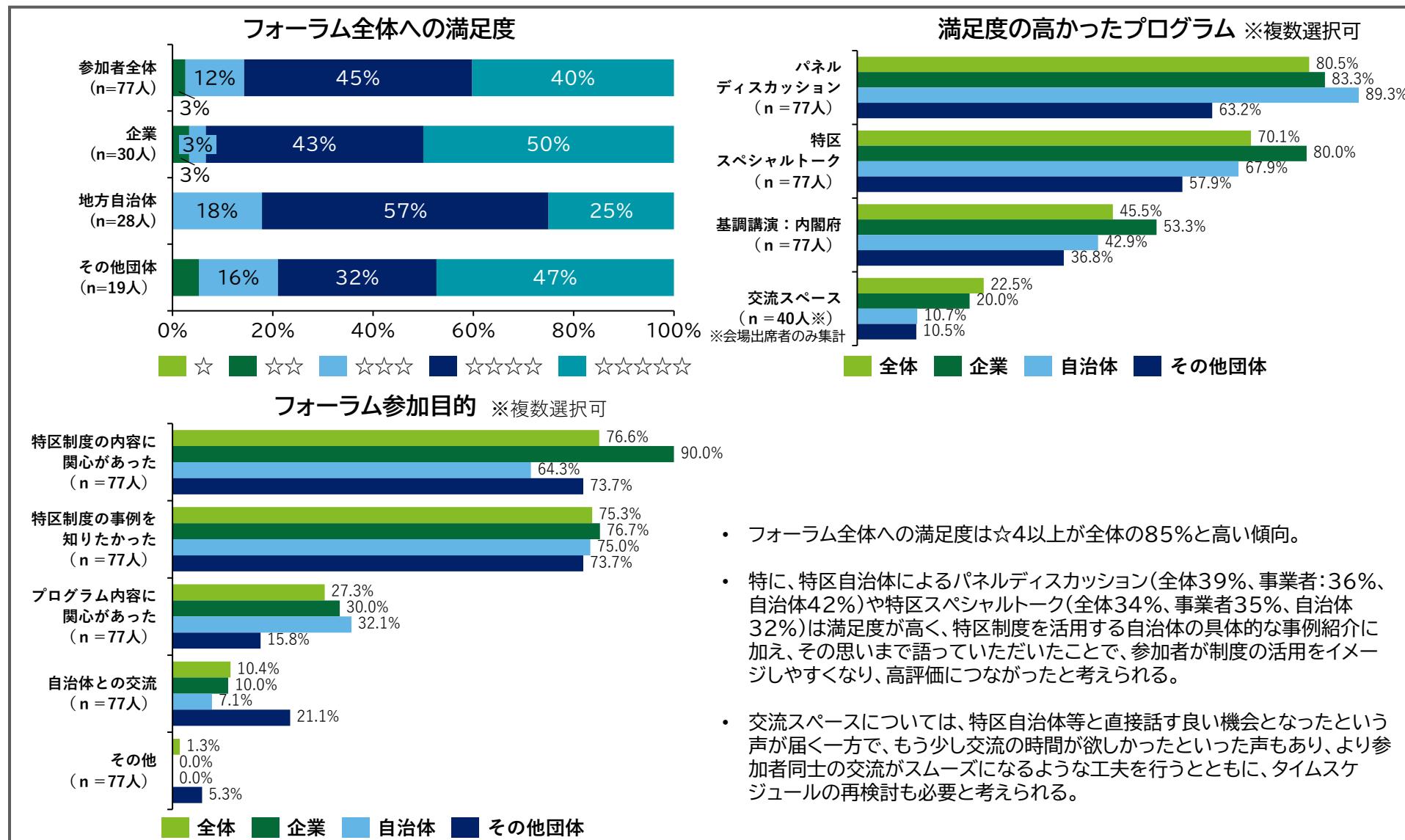
取組紹介(タイトル)

- つくば市:つくば市目線での特区制度活用
- 熊本県:半導体関連産業拠点形成に向けた特区制度の活用について
- 福岡市:国家戦略特区を活用した“スタートアップ都市・福岡”的挑戦

ディスカッション内容

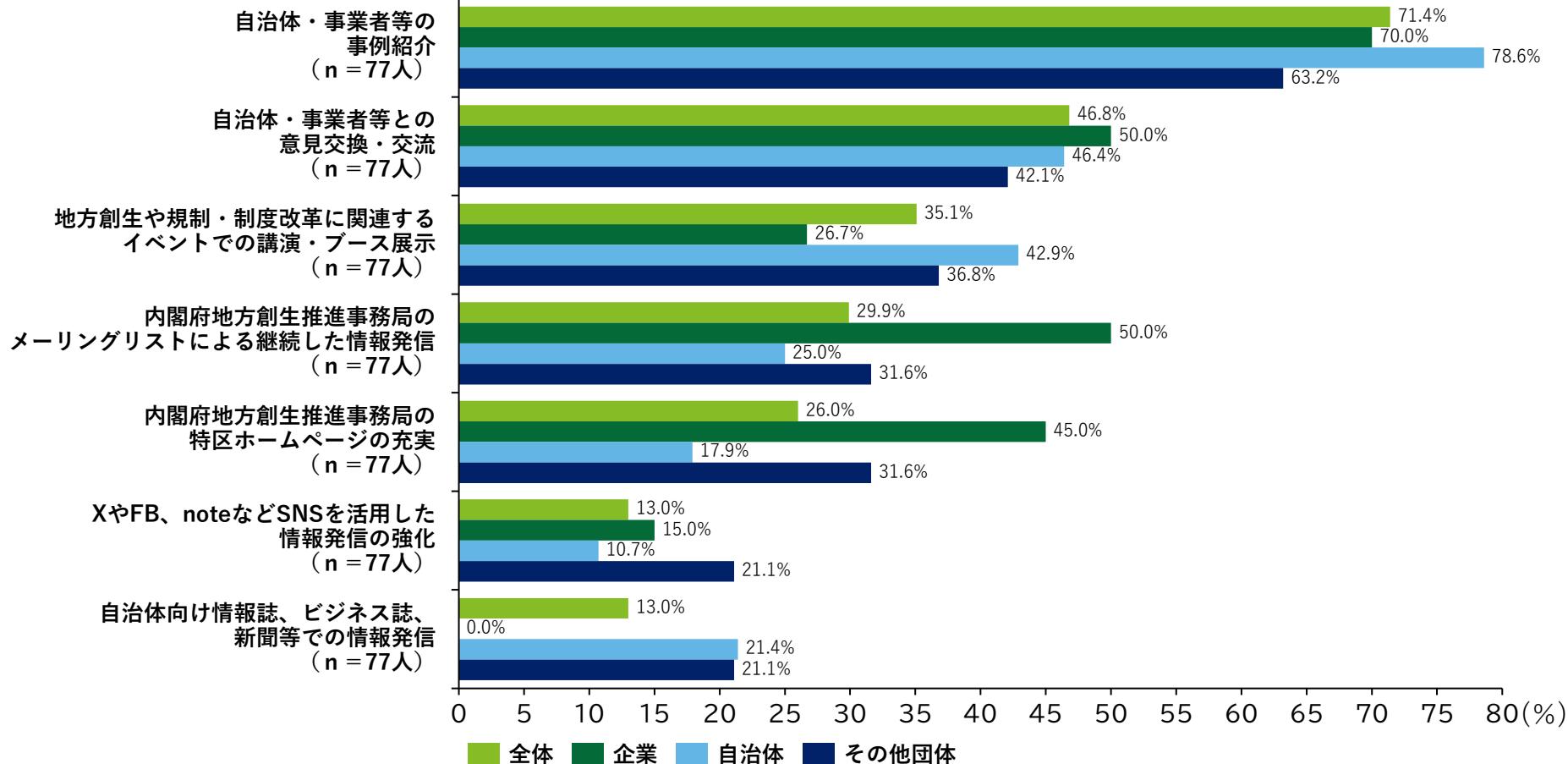
自治体の視点から、特区制度をどう活用して独自の取組や地域の課題への対応につなげているか、その思いや課題も共有いただきつつ、議論を行った。

イベント後アンケート



イベント後アンケート

今後、同様のフォーラムやその他特区制度に関する情報発信について実施してほしいこと ※複数選択可



- 今後、フォーラムや情報発信で実施してほしいことは、「自治体・事業者等の事例紹介」「自治体・事業者等との意見交換・交流」「地方創生や規制・制度改革に関するイベントでの講演・ブース展示」「内閣府地方創生推進事務局の特区ホームページの充実」の順に多い。
- 特区制度を活用している自治体・事業者の事例紹介や意見交換・交流へのニーズが高い傾向が伺えるほか、内閣府からのメーリングリストやホームページ、SNS・情報誌等を活用した情報発信へのニーズもあり、継続した情報発信が求められている。

特区活用フォーラム全体へのコメント概要

(良かった点)

- とても学びになりました。ありがとうございました。（その他団体）
- 特区はハードル高いイメージがあったが解消できた。（商工団体）
- **特区のCMやショートムービーがこれまでになつくりで新鮮でした。**
幅広い層に向けたアピールにつながるので、こういったキャッチャーなものから興味を持つてもらうのはすごく良いと思います。キャラクターがかわいい。（大企業）
- **特区制度の活用事例がなく、イメージが持たなかったが、実際に活用して自治体の声が聞けて、具体的にイメージができた。**
地方都市として、構造改革特区で使えることは何かないかなと探しつつ、具体的な活用はまだ想定できていませんが、特区制度を一つの手段として捉えつつ、地域の特徴や課題を分析しつつ、解決策を検討していきたい。とても有意義な機会となりました。ありがとうございました。（地方自治体）
- **特区制度活用の先進自治体の状況を伺えて少し取り組みのイメージができた。**（地方自治体）
- **大変参考になり貴重な機会だった**（地方自治体）

(改善点)

- 本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。ただ、**特区活用した事例の具体例やエピソードをもっと詳しく聞きたかったです。**企業と自治体の交流の場が増えるとより地方創生につながると思っているので、交流の場が増えるといいなと思いました！

(スタートアップ以外の中小企業)

- 国の先端産業推進の戦略における情報も伺えればと思う。（地方自治体）
- 名刺を名札にしていたが、遠目にはわかりにくく、交流時に声かけしにくい。団体名を大きく明示した名札だと、交流スペースでもっと話しかけられるのでは、と感じた。（地方自治体）

(その他のコメント)

- 熊本の特区は一部地域の半導体に特化したものと思っていた。パネルディスカッションで自分たち農業者も熊本の特区に参加できる希望が見えた。農業分野での特区活用を目指して熊本県に提案させていただきたい。（個人）
- つくば市長がおっしゃる「省庁がゴールポストを動かす」本当の理由が知りたいと思う。これがわからないと、リソースを投入しても先に進まないを繰り返すだけだと思う。（個人）

(今後に向けて)

- 「情報発信の在り方」として、このようなフォーラム形式は印象深く、かつ、限られた時間の中で大変多くの情報、特に“苦労した事項”や“コツ”のような『教訓』を汲み取ることができます。今後も継続されることを望みます。（大企業）
- このような機会は毎年設けていただきたいと思います。（地方自治体）
- このような機会を今後もお願いしたい。特区のメリットを様々な形で広げていきたいと考えています。（スタートアップ以外の中小企業）
- また開催していただきたいです。（地方自治体）
- メーリングリストによる情報発信を期待しております。（大企業）

主な周知施策(実施内容)

チラシ作成・配布

- 10/14 CEATECにて400部配布
- 別途11/12 500部納品
- (参考資料に拡大したものを持載)
- 内閣府他部局イベントにて隨時配布



<https://www.chisou.go.jp/tiiki/toc/event/tocforum2025/pdf/2025tocforum.pdf>

屋外ビジョン広告

- 2025年11月17日(月)～23(日)まで
 - ▶ 東京駅八重洲口J・ADビジョンCentral
 - ▶ 羽田空港京急線/第1・2ターミナル駅
 - ▶ 新橋Faroシティビジョン
- にて「特区で未来を拓く～制度紹介編」の動画広告掲載を実施



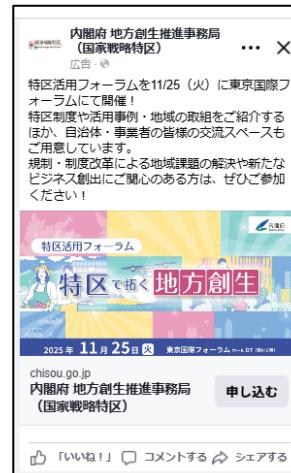
東京駅八重洲口



新橋Faroシティビジョン

Facebook広告

項目	内容・実績
期間	10/24～11/25
ターゲット	日本、25歳以上 メインターゲット：35～60歳
表示回数	114.1万回
クリック回数	8,440回



その他内閣府からの案内、ダイレクトアプローチ等

項目	実施日
内閣府メール配信	10/3、11/5
内閣府Facebook投稿	10/6、10/24、11/4、11/7、11/13
内閣府X投稿	10/6、10/27、10/30、11/4、11/7、11/14
内閣府note投稿	10/16
自治体通信 メルマガ	10/14
ベンチャー通信 メルマガ	10/14
ジチタイワークス (メルマガ)	10/29
バナー広告	10/14～11/12
Peatix (メディア掲載)	10/16
SUカレンダー (メディア掲載)	10/16

参考資料(特区活用フォーラム広報チラシ)

